

## 創刊の辞

聖徳学園岐阜教育大学国語・国文学会の機関誌「聖徳学園岐阜教育大学国語国文学」の創刊号を刊行するにあたり一言ごあいさつを申しあげます。

本学は昭和四十七年四月に開学をいたしました西本願寺派の宗門系の大学でございます。聖徳太子の憲法十七条の中の「以和為貴」の和の精神をもって建学の精神といたしております。こうした立派な精神を体しながら、営々と築きあげてまいりました私学としては数少ない教育系の単科大学でございます。この三月十五日には、第七期卒業の皆さんのほとんどの方が教育界に向かって巣立ってまいります。しかも、今年は開学満十周年を迎える年でございます。大学にとっても、教科の国語科の専攻・専修にとっても十年の歳月は一つの大きな節目でございます。

こうした記念すべき年に、国語専攻、専修の教員と学生とで構成いたしております本学会の機関誌の創刊号を発刊できます運びに相成りましたことは、学会員一同欣快の至りでございます。

これも偏に本学会の設立を常日ごろよりご支援下さいました本学理事会、教授会、事務局および各課職員の皆様方のお蔭であると深謝いたしております。

学会の機関誌は、その発行母胎である学会のレベルと性格とを示しております。その点、機関誌は、学会活動のメインであります。このささやかな機関誌は、我が国の国語、国文学の研究レベルからみればまだまだ一人歩きはおぼつかなく、したがって、国語、国文学界に直接寄与できるとは考えておりません。今後、教員、卒業生、在学生が一丸となってさらに研鑽を積みまして質的充実を計ってまいりたいと念願いたしております。どうぞ温情あるご支援を賜われますようお願い申し上げます。

教育大学の性格上、国語教育への関心が高く、したがってこの方面にかなりウエイトを置いて学会活動を推進してまいりたいと考えております。さらに学術的にはもちろん、啓蒙的にも地域社会の教育、文化にいささかなりとも貢献するところがあればと、機関誌を中心に学会の諸行事を企画いたしております。

各界の皆様方におかれましては、本学会に対しまして一層のご支援とご助言を賜われますよう重ねて懇願申しあげる次第でございます。

なお、各大学、各研究機関におかれましては、貴学、貴機関の国語、国文学専攻でご刊行になりました機関誌、紀要などのご交換をいただけますならば、これに勝る喜びはございません。よろしくご高配のほどをお願い申し上げます。

昭和五十七年三月